

令和 8 年 第 3 回 山 口 市 議 会 (定 例 会)
市 政 概 況 報 告 及 び 議 案 説 明 の 要 旨

○市政概況報告

1 山口市総合計画の策定について申し上げます。

本市の長期的なまちづくりの方向性をお示しする第二次山口市総合計画が、令和9年度に計画期間を終了いたしますことから、本年度から、次期総合計画の策定を本格化することといたしております。

策定に向けた庁内の推進体制といたしましては、先月18日に、私を本部長とし、各部局長等で構成する「山口市総合計画策定本部」を立ち上げ、次期総合計画の基本構想の立案、基本計画の策定における全庁的な合意形成及び連絡調整を進めていくことといたしました。

また、市民参画による策定体制としましては、幅広い分野から専門的な見地での御意見や御提言をいただくため、外部有識者や市民公募委員などで構成する「山口市総合計画策定協議会」を設置することとしております。

なお、市民公募委員につきましては、若者や子育て世代を対象に募集を行ったところございまして、政策形成に当たり、こうした若い世代や女性の方からの多くの御意見をいただきたいと考えております。

こうした体制のもと、令和9年度中の計画策定に向け、市民の皆様や地域の皆様、そして、議員の皆様方を始めとする関係者の皆様からの御意見を賜りながら、「みんなでつくる」総合計画として、検討を進めてまいりたいと考えております。

2 福祉避難所の運用開始について申し上げます。

御高齢の方や障がいのある方など、一般の避難所での避難生活が困難な方を受け入れるため、福祉避難所の運用を開始いたしました。

これまで山口市介護サービス提供事業者連絡協議会と協議を重ねてまいりまして、昨年7月に「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結し、本年4月1日に12法人22施設を福祉避難所として、指定をいたしましたところでございます。

今後、災害時におけるリスクが高い方から順次、御本人や御家族、ケアマネジャーや福祉避難所となる施設などと調整を行いまし、対象者の方が避難を円滑に行うことができますよう、取組を進めてまいりたいと考えております。

3 道の駅「仁保の郷」グランドオープンについて申し上げます。

道の駅「仁保の郷」につきましては、平成12年のオープン以来、仁保地域のシンボルとして、市内外の多くの皆様に親しまれており、令和6年度には年間約75万人を超える方々に御来場をいただいたところでございます。

こうした中、オープンから20年以上が経過し、施設の老朽化や利用者ニーズの多様化への対応が求められておりましたことから、交流拠点としての更なる機能強化に向けまして、令和6年度から、朝市広場及びレストランの増改築、本館棟にございます「通り抜け広場」の室内化、イベントスペースとしての多目的デッキの改修などを行いますとともに、新たに西側及び北側での駐車場整備を行いまして、本年3月末に竣工いたしましたところでございます。

4月4日のグランドオープン記念式典では、仁保小学校児童の皆

様によります仁保地域のオリジナルソング「にこにこ仁保」の合唱披露や、餅の配布などを行ったところでございます。当日は、雨天にも関わらず、多くの来場者にお越しいただき、「商品が見やすく、買いやすくなった」「新鮮で品数も多くてよい」などのお声をいただいたところでございます。

また、グランドオープン以降も、市内外から多くの皆様に訪れていただいております。特に、この度増築いたしました朝市広場での市内産の新鮮な野菜やお米の販売が御好評をいただいているところでございます。

本施設におきましては、これまでも地元産農作物の販売に加え、こうした産品を生かした加工品の開発、販売や各種イベントの開催などにより、地域産業の振興及び交流人口の拡大に取り組んでまいったところでございます。この度の改修による施設の機能強化等により、更なる魅力度の向上に繋がるものと考えているところでございます。

本施設の運営に当たりましては、今後とも、指定管理者や仁保地域の皆様方と連携いたしながら、地域における産業の更なる振興を図りますとともに、地域住民の皆様のコミュニティ活動や、地域を超えた交流を促進することで、市民の皆様に、より一層愛される道の駅となりますよう、引き続き取り組んでまいります。

4 第2回日本・ハワイ姉妹州姉妹都市サミットに係る公式訪問について申し上げます。

昨年9月に友好都市提携を締結いたしましたアメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市において開催された第2回日本・ハワイ姉妹州姉妹

都市サミットに出席するため、5月20日から25日までの日程で、私を団長とする公式訪問団8名がホノルル市を訪問いたしました。

今回のサミットには、日本からは21自治体の首長等が、ハワイ州側からはハワイ州知事を始めホノルル市長等の首長、地域団体、地元企業などの約350名が出席し、総会において主催者等による挨拶やハワイ・日本双方の首長等の紹介、講演が行われましたほか、分科会におきまして、「ハワイと日本の経済的影響と関係」「スポーツ外交」などをテーマにパネルディスカッションが行われたところでございます。

また、ハワイと日本の貿易や経済連携を促進するために開催されました経済政策フォーラムでは、「日本企業・ハワイ企業のビジネス展開」をテーマとした講演が行われましたほか、分科会におきまして、事例発表や意見交換が行われ、今後の展望について相互理解を深めたところでございます。

さらに、サミットに併せて設けられた展示ブースにおきまして、本市の特産品の展示や観光PR動画の上映、観光パンフレット及びノベルティグッズの配布を行い、多くの方々に本市の魅力を紹介いたしましたところ、本市に御興味をお持ちの方や御縁のある方々から、「ぜひ山口市を訪れてみたい」といったお声をいただいたところでございます。

また、サミットへの参加に併せまして、ホノルル市のリック・ブランジャルディ市長やトミー・ウォーターズ市議会議員のほか、ホノルル日本人商工会議所、日本ハワイピククルボール協会への表敬

訪問やマエマエ小学校を視察するとともに、ゲイル・ワカタケ会長を始めとするホノルル山口県人会の皆様と意見交換を行い、本市とホノルル市との更なる連携についてお互いに確認したところでございます。

このほかにも、地元の旅行会社や航空会社など10社の担当者の皆様と意見交換を行い、インバウンドやアウトバウンドの促進に向けたつながりを築いたところでございます。

本市といたしましては、今回の訪問において頂戴した貴重な御意見等を踏まえ、引き続き、こうした交流行事への参加や記念事業などの取組を通じて、経済や教育を始めとする様々な分野における交流をより一層促進し、ホノルル市との友好親善を深めてまいりたいと考えております。

5 第31回中原中也賞贈呈式の開催について申し上げます。

中原中也賞は、日本の近代詩史に大きな足跡を残した本市出身の詩人・中原中也の業績を永く顕彰するとともに、優れた現代詩を顕彰することを目的に創設いたしましたものでございます。

この度の第31回中原中也賞につきましては、本年2月21日に全国から応募及び推薦のあった267点の作品の中から、京都府在住の成清朔^{なりきよさく}氏の詩集『彼方の幽霊』に決定いたしました。

そして、中也の生誕日でございます4月29日に、湯田温泉のホテルを会場として、賞の贈呈式を開催いたし、選考委員を始め、関係者や詩の愛好家の皆様と共に受賞をお祝いしたところでございます。

なお、当日は贈呈式への御本人の出席はかないませんでした。

代理の方に賞の贈呈を行うとともに、御本人から寄せられたメッセージの読み上げや、受賞作品に関連する展示を行うなど、受賞に当たったの思いや作品の魅力を、来場者の皆様にしっかりとお伝えしたところでございます。

本市といたしましては、今後とも、中原中也賞の運営を始め、時代を越えて愛される中也の魅力と詩の世界を広く発信してまいりますとともに、「創造文化都市やまぐち」としての特色あるまちづくり、市民の誇りの醸成、さらには交流人口の創出につながる文化施策を一層推進してまいります所存でございます。

6 企業立地について申し上げます。

企業立地につきましては、本年3月以降、4件の協定を締結いたしました。

まず、3月9日に、東京都港区に本社がございます「KDDI アジャイル開発センター株式会社」と進出協定を締結いたしました。

同社は、令和4年に設立され、KDDI株式会社が日本企業のDX推進やその支援をするために設立したDX専門のグループ会社でございます。アジャイル開発やデザイン思考を活用し、AIを始めとする先端技術を取り入れながら、企業のDX推進や事業・サービスの開発、保守運用を主な事業として展開されております。

この度、本市小郡黄金町及び産業交流スペース「メグリバ」の2か所に新たに事業所を設置し、アジャイル開発事業及び保守事業を行うこととされ、総投資額として約100万円、新たな雇用の創出として10人を予定されているところでございます。

次に、3月25日に、広島県東広島市に本社がございます「株式

会社^{にっぽん}日本クライメイトシステムズ」と事業所設備増設協定を締結いたしました。

同社は、平成20年5月に山口テクノパークに山口工場を設置され、主にカーエアコンを製造されておりますが、この度、生産体制の再構築による生産能力確保のため、生産ラインの増設や増強及び更なる快適な職場環境の構築を図られることとされ、総投資額として約26億2,800万円、新たな雇用の創出として17人を予定されているところでございます。

次に、3月26日に、東京都港区に本社がございました「株式会社ゼンショーホールディングス」及び「株式会社^{ジーエフエフ}G F F」と新事業所展開協定を締結いたしました。

株式会社ゼンショーホールディングスのグループ会社である株式会社G F Fは、ゼンショーグループの製造機能の中核を担い、加熱製品や非加熱製品を始め、野菜加工製品、小売製品などの製造を展開されております。

この度、鑄銭司第二団地に新事業所を設置し、加熱製品や食肉加工などの食品製造を行うこととされ、総投資額として約260億円、新たな雇用の創出として約120人を予定されているところでございます。

次に、4月28日に、東京都新宿区に本社がございました「^{セブン}S E V E N ^{ネクサス}N E X U S株式会社」と進出協定を締結いたしました。

同社は、令和5年に設立され、ライセンス事業やゲーム関連事業を展開している^{セブン}S E V E N株式会社のグループ会社であり、スマー

トフォン向けのゲーム開発や保守、運用事業を展開されております。

この度、産業交流スペース「メグリバ」に新事業所を設置し、併せて本社機能を本市に移転することとされており、新たな雇用の創出として5人を予定されているところでございます。

今後とも雇用の創出や地域経済の活性化につながる企業誘致に積極的に取り組んでまいり所存でございます。

○議案説明の要旨

議案第1号の令和8年度山口市一般会計補正予算につきましては、歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億9,103万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ946億8,594万3,000円といたしております。

それでは、歳出予算からその概要を御説明申し上げます。

まず、今回併せて提案いたしております駐車場等に係る通勤手当に関する条例改正に伴う人件費の増加につきまして、所要の補正をいたしております。

このほか、民生費につきましては、児童福祉費2,110万円、生活保護費1億1,930万9,000円をそれぞれ追加計上いたしております。

衛生費につきましては、清掃費3,694万5,000円を追加計上いたしております。

次に、歳入予算につきましては、特定財源といたしまして、国庫支出金9,050万3,000円、県支出金2,110万円をそれぞれ追加計上いたしております。

また、一般財源といたしまして、繰越金7,943万1,000円を追加計上いたしております。

議案第2号から議案第4号までは、特別会計に係るものでございまして、一般会計と同様に、駐車場等に係る通勤手当に関する条例改正に伴う人件費の増加につきまして、所要の補正をいたすものでございます。

議案第5号は、山口市職員の給与に関する条例の一部を改正する条

例でございます。

これは、駐車場等に係る通勤手当の支給対象者の拡大について、国家公務員の一般職の職員の給与に関する法律及び山口県の一般職の職員の給与に関する条例に準じて所要の改正をいたすものでございます。

議案第6号は、山口市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例でございます。

これは、宿泊費基準額につきまして、国家公務員等の旅費支給規程の改正に準じて、所要の改正をいたすものでございます。

議案第7号は、山口市税条例の一部を改正する条例でございます。

これは、地方税法等の一部改正に伴いまして、公的年金等受給者の扶養親族等申告書の提出義務の範囲の見直しなど、所要の改正をいたすものでございます。

議案第8号は、山口市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例でございます。

これは、非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴いまして、損害補償の額の算定の基礎となる補償基礎額の改定を行うほか、所要の改正をいたすものでございます。

議案第9号から議案第11号までは、財産の取得についてでございます。

これは、それぞれ議案に示しますとおり財産を取得することにつきまして、市議会の議決を求めるものでございます。

